

朝市 出店者の皆さんと反省会を 11月26日(水)

はじめに 「小久慈朝市」の最大の目的は、小久慈の皆さんが庭先で作った野菜や果物、デンガクや串餅等を、町内の皆さんに買って貰い、小久慈町内で物と金の循環と交流ができることです。

平成30年7月8日の第1回朝市開催以来、台風やコロナ禍で中止した月もありましたが、11月9日の今年最後の朝市で34回を数えました。出店者の皆さんや来場者の皆さんのご協力を賜り、小久慈を代表する大きな交流の場となり、感謝申し上げます。

◎出店者反省会

「5回の朝市」が終了すると、毎年、地域づくり振興課、やませデザイン会議、まちづくり協議会、朝市チーム、そして出店者の皆さんが集まり、「出店者反省会」を開催し、第1部では「良かったこと、改善を要すること」等の意見交換を行い、第2部では懇親会を行っています。

■ 第1部 (意見交換)

① 大下市民センター所長挨拶、② 地域づくり振興課久慈課長より挨拶を戴き、次に5回の朝市の様子を約150枚のスライドで紹介しました。

駐車場スタッフや出店者の皆さんも「朝市の全体像」は見えていないので、喜んで交流できました。本番の、出店者の皆さんの意見交換では



・カフェチーム 過去最高の売上げだった。看板等を新しくして分かりやすくなった。

・小久慈焼チーム チラシでPRすることができた。陶芸教室では、陶芸苑の見学も行ってよかった。教室の作品は文化祭にも展示できた。

・なかやま 当日手伝って貰っている親戚の子供が「沢山の小学生が買いに来てくれて嬉しかった」、お客さんに「すごいね・頑張っているね」と声を掛けてもらい嬉しかった、と喜んでた。朝市を通じて子供を育てて貰っていると実感した。



・日沢志奈子 スタッフの皆さんにサポートして戴き、安心して出店できた。

・じゅうねチーム テレビで放送の影響もあり、じゅうね油が良く売れた。

・水上農園 合唱の位置が玄関前に変わった事で、奥までお客さんが入り、良かった。お客様に「ゴミ箱」を聞かれた、位置を分かるように工夫してみても、初めて「試食」を用意したら、売上げが伸びた。

・体育文化部 金魚すくいをやりたいができなかったが、どのゲームも好評だった。

・佐藤農園 来年はもっと野菜の品目を増やしたい。加工品を出したいが、7月に間に合うか心配。

■ 第2部 (懇親会)

① 佐々木栄幸朝市チーム代表よりお礼の挨拶、② 鹿糠勇まちづくり協議会会長の乾杯で懇親会に入り、参加者は交流を深めながら来年も朝市を頑張ろうとの思いを強くしていました。

朝市開催状況			
回	開催日	出店数	来場者等
1	7月13日	13	350
2	8月10日	13	330
3	9月14日	15	330
4	10月12日	15	320
5	11月9日	17	500
計			1,830

朝市出店者一覧	
No.	出店者名
1	カフェチーム
2	小久慈焼チーム
3	なかやま
4	日沢志奈子
5	じゅうねチーム
6	ルピナス
7	水上農園
8	清水りんご園
9	馬内エイ子
10	てしごと屋
11	山根未来づくり会
12	久慈未来
13	体育文化部
14	佐藤農園
15	みっちゃんカフェ
16	十文字チキンカンパニー
17	久慈翔北高校

今年最後 第5回 小久慈朝市 盛大に開催

今年最後の小久慈朝市が11月9日(日)8時から開店しました。天気は曇りでしたが風が弱く絶好の朝市日和となり、来店者・出店者合わせて約500人の参加となりました。

今回の朝市はなんとと言っても小久慈小学校4年生児童37人による合唱です。今年から場所を資料室玄関前に変更し、来店者も出店者も聴きやすくなりました。北さんりく合唱団「まれ」の応援もあり、アンコールで歌ったりとても盛り上がりました。

出店者の方では、久慈翔北高校のシクラメンやじゅうねチームのエゴマ油、新米などが、すぐ売切れてしまいました。山根の軍配餅、日沢さんのじゅうね餅、なかやまさんの田楽・ピザ、みっちゃんカフェ、カフェチームなども好評で売切れが続きました。さくらチームは初参加で手ぬぐい等を販売しました。

スタッフも運営に慣れてきており、混雑した駐車場での車の誘導もスムーズに行っていました。毎回、まち協の役員さんも準備から後始末まで明るく作業して頂けることが有り難いです。来店者の皆さん1年間小久慈朝市をご利用頂き有り難うございます。また、関係者の皆さん大変お疲れ様でした。(朝市チーム事務局 大井正信)



写真左：小久慈小4年生の合唱(アンコール)
写真右：小久慈小4年生児童の開会宣言

毎年進化している エゴマ栽培！

令和2年から遊休農地を活用して、エゴマ栽培を実証実験している「じゅうね研究会」ですが、今年の収穫高は、過去最高の74kgとなりました。

毎年、試行錯誤の連続で失敗しても改善を重ね、昨年の66kgを上回る収穫となりました。5月のポットへの播種、畑の耕起に始まり、6月の移植作業、7月の管理機かけ、草取り作業と順調に進んで来ました。今年は、佐藤農園のハウスを借りて播種してポットの発芽率を高めたり、移植作業では90センチ四方の畝盤の目のように線を引いて移植したりとか工夫し、天候にも恵まれかなりの収穫が期待されました。ところが、刈取り近くになり、かなり倒れてしまい、収穫が減るのではと心配されました。結局、乾燥、脱穀してみたら、豊作ということで一安心でした。

早速、11月9日小久慈朝市にエゴマ(じゅうね)油を40本並べましたらすぐ完売でした。また、油が棚に無くなっていた北三陸道の駅と土風館にも出荷することができました。

じゅうね研究会は約15人の会員ですが、日常的には5、6人程度の活動になっており、会員以外からの協力にはとても感謝しております。これからも会員の輪を広げながら、健康食品であるエゴマ油を生産・販売していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

小久慈じゅうね研究会 代表 大井 正信
(未来づくり事業じゅうねチーム)



脱穀作業

小雨の中で 第53回小久慈町民文化祭 開催!!

—— 10月26日(日) ——

— 皆で会場設営と展示を —

10月26日(日)開催の第53回小久慈町民文化祭は、全体打合せを2回行い、準備のため各部会を個々に開催して、万全の体制で取り組みました。

24日(金)午後は町内会、区長会の22名の皆さんで「体育室」に「パネル5列25枚」の設置です。毎年の作業で手慣れたベテランのリーダーの指導のもとスムーズに組み立てていました。

卓球台や山根市民センターから借用したテーブルを並べて会場設営の完了です。

引き続き、保育園、小、中学校の作品や写真、絵画、さくら染め、吊るし飾り、布製の小物、バードカービング、小久慈焼陶芸教室の作品、お化けカボチャ、「ナラ枯れ」の写真やシラカバ林再生活動の紹介、通信100号の紹介等、皆さんの作品が体育室に多数展示されました。

— いよいよ「第53回文化祭」の開幕 —

雨は小降りです。開会時間の9時には玄関に多くの来場者が集まり、体育室も多くの人達がいます。

ピンポンパンとチャイムが鳴り、八屋事務局長の開会宣言で、いよいよ第53回小久慈町民文化祭の開幕です。

体育室の多数の展示物、販売物、老人クラブ担当の「農産物販売」「みっちゃんカフェ」が開店しました。

— 子どもコーナーも沢山! —

「輪なげ」コーナーや「射的」コーナー〔写真右〕は子ども達で大賑わいでした。

また、今年も体育室や1階及び2階の全館内を駆け回ってクイズを解く「コクリんの挑戦状」が行われました。全問正解にはお菓子がプレゼントされました。

小雨の中、外の広場部門では朝市でお馴染み「山根べっぴんカフェ」、「日沢志奈子」さん、「なかやま」さん達がテントで販売の「軍配餅」「じゅうね餅」「デンガク」「スイーツ」等が人気を呼んで、お昼前には完売です。玄関の横ではお馴染みの人気コーナー「包丁研ぎ」も行なわれています。

10時30分からは「カレーライス」(テイクアウト)、「おでん」の販売が始まりました。原則テイクアウトですが、休憩コーナーでは食べられるようになっています。

多くの皆さんにカレーやおでん、喫茶部門のスイーツ等お買い上げ戴き、お陰様で全て完売となりました。ありがとうございました。

小久慈の展示部門の規模は久慈で随一と自負しています。

昼の部は15時までです。体育室を片付けて、夜の部のステージ作りが始まりました。町内会、区長会、体協より約20名で作品の片付け、パネルの撤去、芸能部門看板の設置等手際よく進みました。



さあ、お待ちかね「芸能部門」です!



5時開会の芸能部門開幕は小久慈小学校児童による「あいさつ運動」「ヘルメット着用と交通安全」の標語コンクール入選者表彰式です。

1年生から6年生まで13名が選出され、表彰されました。6年生の作品は、看板を作成し、町内に設置されます。

プログラム2番は「小久慈小学校4年生」の皆さんの「世界がひとつになるまで」他でビデオ出演です。(写真右)続いて、主催者を代表し、まち協の鹿糠会長より「朝早くから雨の中を来場戴きありがとうございました。引き続きステージ部門です。ゆっくり楽しんで下さい」と御礼の挨拶がありました。

会長挨拶以降は小豆嶋女性部長の進行で、プログラムは14番まであり、プログラム3番は「市民センター体操ダンス教室」です。中村係長他6人で、元気よく体操&ダンスでスタートです。

上日当町内会、岩瀬張町内会、下柏木親友会、下日当町内会、踊りサークルすみれ、コーラスけやき、秋葉町内会、日吉町内会、久慈大正琴の会と舞台を盛り上げてくれました。

— 終わりに —

最後は、「秋まつり流し踊り」にも参加した、小久慈まちづくり協議会女性部による「久慈湾小唄」です。

そして大トリは全員参加で「ナニヤドヤラ」です。太鼓教室の皆さんがリードし、次第に体育室の「踊りの輪」が大きくなり、主催者、来場者が一つの輪になって、小久慈文化祭を楽しみました。



市民センター体操ダンス教室



久慈大正琴の会



コーラスけやき



観客も踊りの輪に入り
ナニヤドヤラを楽しむ

